



菊内 聡さん
 (与能)

今後の芳賀町での農業

私は芳賀町で就農し5年程になります。農業経験の無い私でしたが、一緒に作業をしている経験者の方々のアドバイスもあって、現在は米とタマネギを栽培しています。芳賀町の土地で作られた米やタマネギはとてもおいしくお客様から大変喜ばれています。

私の家では稲作が主ですが、最近は農業者の高齢化もあり、田畑を依頼されることが多くなってきました。今後、農地の集約、集積がますます進んでいくと思われますが、農業の担い手不足、労働力不足も進む中でより効率の良い安定した農業をしていくことが求められてきていると思います。

芳賀町の行政の方々には、若い世代の人たちが意欲をもって農業に取り組めるような環境作りをしていただき、町の農業がますます活性化していけたらいいと思います。



大橋 千恵子さん
 (下高根沢)

近い将来に向けて

私は高校1年の二学期から家を出て、十数年ぶりに実家に戻ってきました。(夫付き出戻り?) 同級生や先輩の活躍に気づき、芳賀町での生活を楽しんでいます。田園地帯での伸び伸びと過ごした子供時代を懐かしく思い出します。野菜の苗や種などを分けていただいたり、上手な作り方を教えていただいたり、小さな菜園、家の周りの雑草との悪戦苦闘の毎日です。

現在64歳。今のところ、夫と二人で無事に生きていますが、どんどん年齢が重なることを考えると不安になります。病院やスーパーなど、どこへ行くにも車がないと困る時が必ずやってくるのです。運転免許証の返納問題、LRTの利用の問題を具体的に理解し、近い将来に向けての心の準備をしなければならないと痛切に感じています。

この大好きな芳賀町が、これからももっともっと住みやすく、笑顔いっぱいの町になることを願っています。



石下 修平さん
 (東水沼)

ふるさと

去年、私は芳賀町の小学校で講師をさせていただきました。短い時間でしたが、多くの先生方に支えられ、非常に充実した時間を過ごすことができました。子ども達に教えたことよりも、自分が教わったことの方が多かったことは間違いありません。本当にありがとうございました。

現在私は、発達障害のある子ども達と関わり、勉強やコミュニケーションスキル、ビジネススキルなどを教えています。学校の先生によく叱られていた私が、子ども達から「先生」と呼ばれる存在になっていること、今でも信じられません。そんな「らしくない」自分だからこそ、指導では精一杯自分らしさをと思い、とにかく楽しんでできることをモットーに取り組ませていただいています。

いつか、今行っていることに転じて、障害の有無に関わらず一人ひとりの持つ才能を引き出せる場を提供したいと考えています。そして、私の夢は私を育ててくれた地元でそれを行うことです。